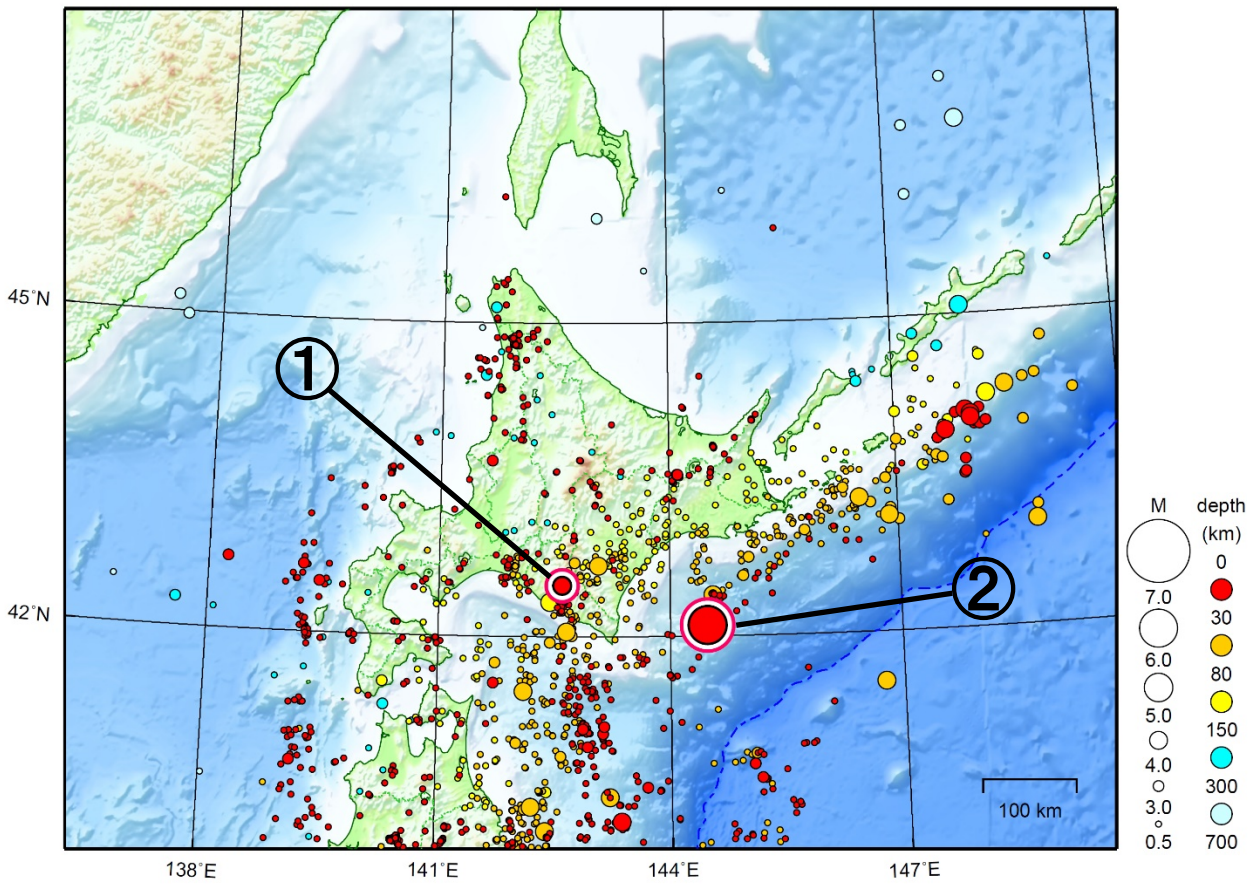


# 北海道地方

2021/05/01 00:00 ~ 2021/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 5月14日に日高地方中部でM4.6の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 5月16日に十勝沖でM6.1の地震（最大震度3）が発生した。

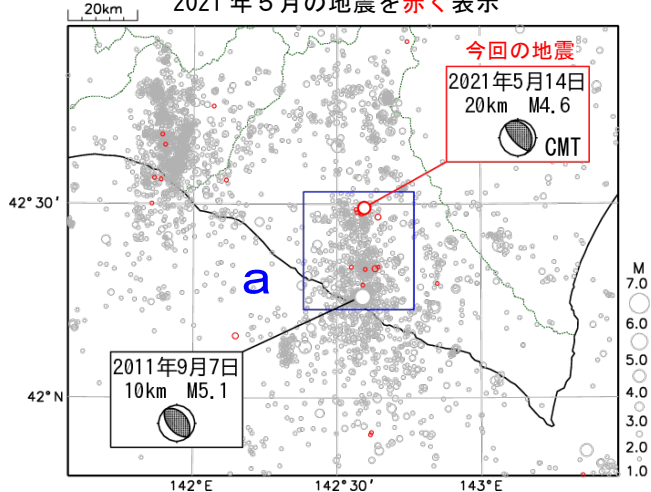
気象庁はこの地震に対して[釧路沖]で情報発表した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 5月14日 日高地方中部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2021年5月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.0$ )  
2021年5月の地震を赤く表示

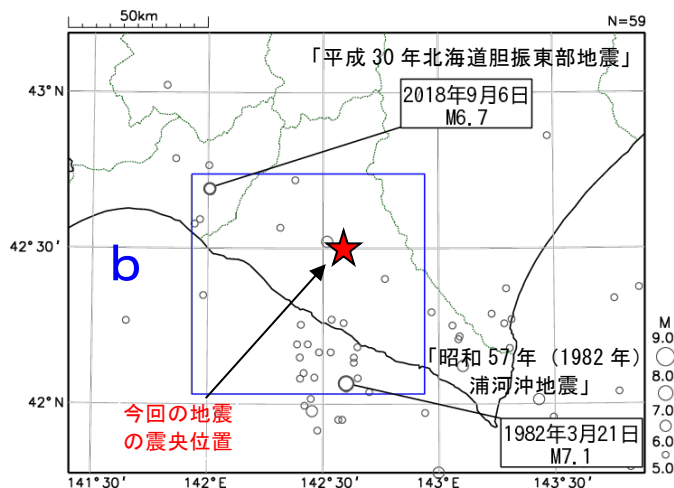


2021年5月14日20時46分に日高地方中部の深さ20kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

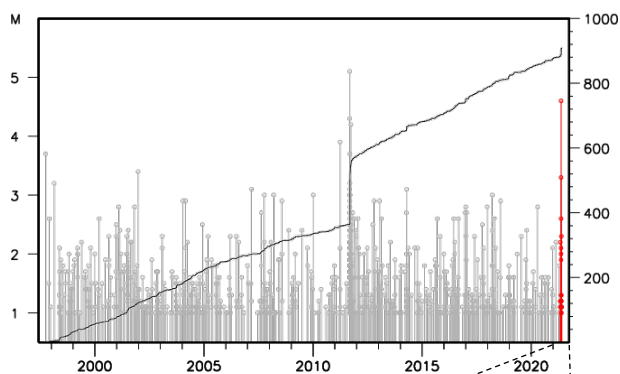
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M4.0以上の地震が今回の地震を含め4回発生しており、その内3回は2011年9月7日～2011年9月26日にかけて発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が2回発生している。2018年9月6日の「平成30年北海道胆振東部地震」(M6.7、最大震度7)により、北海道では死者43人、負傷者782人、住家全半壊2,129棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

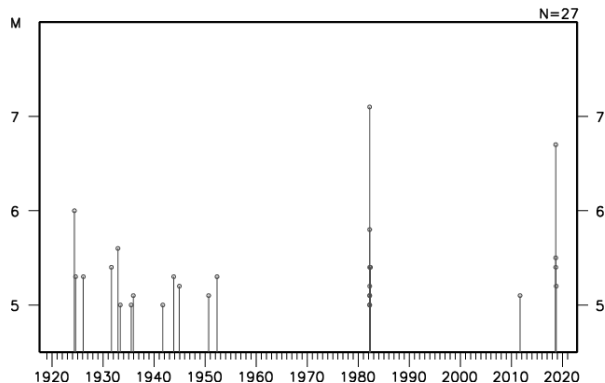
震央分布図  
(1919年1月1日～2021年5月31日、  
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$ )



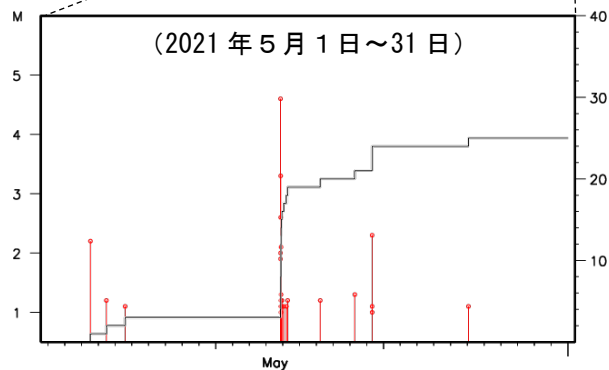
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



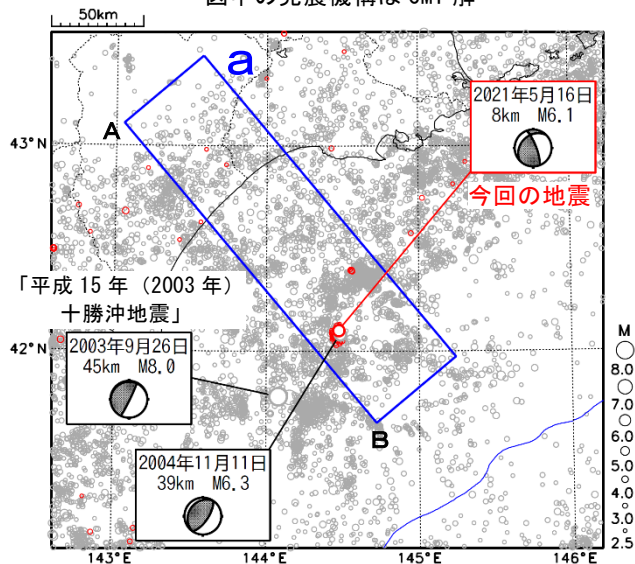
(2021年5月1日～31日)



# 5月16日 十勝沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔釧路沖〕である。

震央分布図  
(2001年10月1日～2021年5月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$ )  
2021年5月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

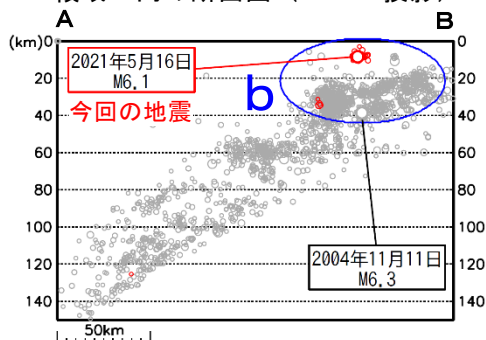


2021年5月16日12時23分に十勝沖の深さ8kmで $M6.1$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ型である。

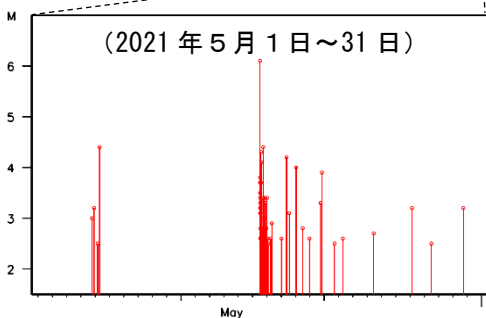
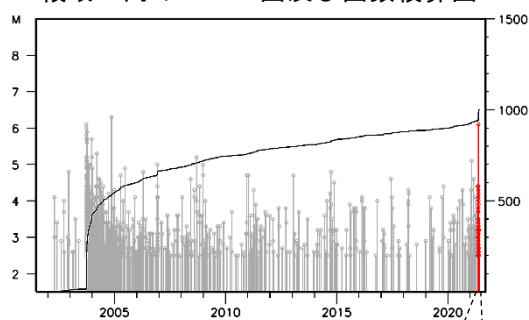
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M6.0$ 以上の地震が今回の地震を含め4回発生しており、そのうち3回は2003年から2004年にかけて発生している。今回 $M6.0$ 以上の地震が発生したのは2004年11月11日以来である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年(2003年)十勝沖地震」( $M8.0$ 、最大震度6弱)では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、主に北海道から四国の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では行方不明者2人、負傷者847人、住家被害2,065棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図(A-B投影)

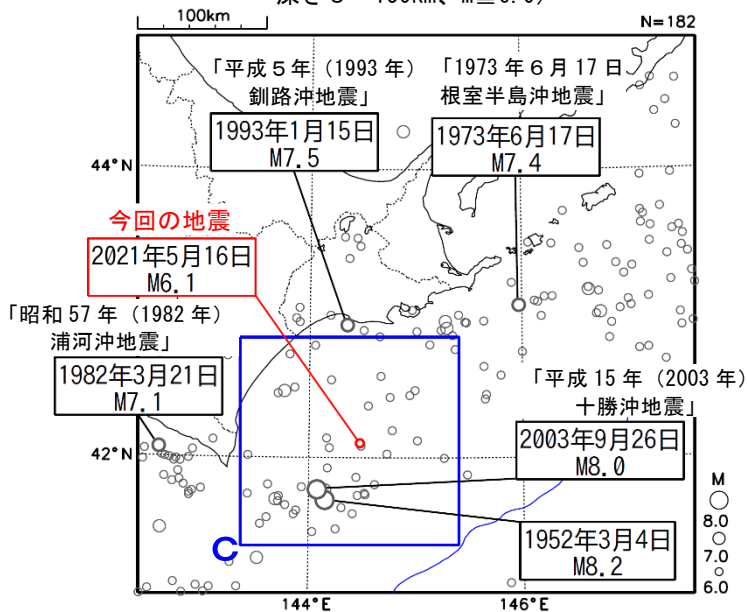


領域b内のM-T図及び回数積算図

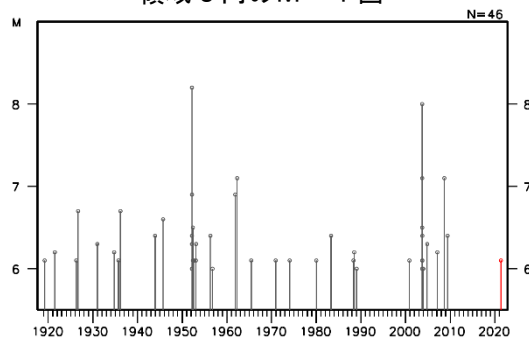


震央分布図

(1919年1月1日～2021年5月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )



領域c内のM-T図



気象庁作成